

素敵な教職員の皆さんに、ONとOFFのスマートスタイルについてお聞きしていきます。

リレーでつなぐ ワーク・ライフ・バランス

work life balance

vol.18

「チャレンジ! できることからコツコツと」

私は、看護学校卒業と同時に東京の病院に就職しました。親元を離れての都会での生活が寂しいかと思いきや、先輩とは仕事・研修のつきあいのみならず、旅行したり悩みを聞いてもらったり、さらにはお酒の飲み方を教えてもらい充実した4年間を過ごしました。現在でも当時の先輩たちとの交流が続いていて、いつまで経っても一番年下なので気持ちも楽ですし、思い切り先輩たちに甘えられます。実は平成29年1月に上司の古希祝いがあり、先輩たちと「恋ダンス」を披露してきました。各自が動画を観ながら個人練習をして、ぶっつけ本番でしたが意外に揃っていて、上司は「あなたたち変わらないね」と涙を流して喜んでいました。

富山に戻り親との同居生活がスタートして長男が生まれ、それ以来、私が看護師を続けることができて、家族の支えがあってこそだと思います。当時は今のような育児部分休業制度はなく、子どもたちが幼い時は3交替の不規則勤務をしていたため、夜間や休日に子どもと一緒に過ごす時間が少ない中で育児やPTA活動に励んできました。現在の部署に異動後は、夜勤がないため生活リズムが規則正しくなり、家族と過ごす時間や会話も増えました。また、日勤が終わってからの時間や休日を有意義に過ごすことができ、その1つとしてスポーツジムやビーチボール(富山県朝日町発祥)で運動する時間が増え、おかげさまで何度も挫折したダイエットにも挑戦しています。最近では次男と一緒にビーチボールの大会に出るようになり、共通の趣味で楽しい時間を過ごすことができています。今後もできることは何でもチャレンジしたいと思っています。

仕事の面では、急性期・慢性期・終末期看護を経験した中で、口から食べることで元気になっていく看護を何度も経験し、まずは栄養療

富山大学附属病院
医療福祉サポートセンター
総合医療相談室 副看護師長
おうやのりこ
應矢 紀子

富山県生まれ富山県育ち。1993年から国立療養所東京病院(現独立行政法人国立病院機構東京病院)、1997年から富山医科薬科大学(現富山大学)附属病院で勤務。2013年摂食嚥下障害看護認定看護師資格を取得。



法について勉強しました。しかし栄養療法だけでは摂食嚥下障害で困っている患者さんを支えることが難しいと判断し、誤嚥や窒息のリスク管理をしながら安全に1口でも口から食べることができるよう患者さんに寄り添いたいと考えました。上司の勧めもあり、2012年に愛知県看護協会の認定看護師教育課程で学びました。認定看護師になってからは、自分のやりたいことが明確になり、他職種チームで関わったりスタッフの相談に応じたりして、看護を通して仕事にやりがいと生きがいを感じています。いくつもの病棟を横断的に関わらせてもらい、時間調整や業務調整などのマネジメントの必要性や、他職種とスムーズに共通認識できるようなコミュニケーション能力の必要性なども実感しました。そして、今後の看護師としての目標も考え始めるようになりました。

今回の記事を書くにあたり、これまでを振り返るきっかけになりました。仕事と家庭の両立は難しいですが、信頼している上司に困ったことがあったら相談できたことや、家族に支えられお互いに協力し合えたこと、同僚や友人たちにも恵まれているなど感じる中で、できることからコツコツと取り組み、今の自分が在るように感じます。

両親は畑仕事をしたり友人と食事に出掛けたり元気で活動的ですが、いつかは年老いて介護が必要になる時期がきます。これまでの看護の経験も活かしつつ、少しずつ親孝行していきたいです。



地元の小学校の体育館で、週1回のビーチボール練習



富山大学男女共同参画推進室

News Letter

Office for gender equality, University of Toyama

TOPICS

- 活動報告 ■ お知らせ ■ スポットライト
- 今注目のことば ■ リレーでつなぐワーク・ライフ・バランス
- 数字で見る富山大学のいろいろ

2018.3
第18号



活動報告

ダイバーシティ研究環境実現シンポジウム

富山大学における「女性研究者人材育成の挑戦」〈中間報告〉

■ 日時：平成29年10月20日(金)13:30~16:30 ■ 会場：五福キャンパス 黒田講堂ホール
■ 対象：本学教職員、学生、一般 ■ 参加者：95名

女性研究者のワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境整備や国際型女性研究者育成プログラムを展開してきた本学の取組を検証するためのシンポジウムを開催致しました。

第1部は九州大学教授の樗木(ちしやく)晶子氏、東京工業大学特任教授の林ゆう子氏、科学技術振興機構プログラム主管の山村康子氏による講演で、各大学の現状分析や好事例をご紹介いただきました。続いて富山大学における本事業の中間報告を行い、外部評価委員長である金沢大学学長補佐の池本良子氏から講評をいただきました。第2部は富山大学学長賞第1回「未知に挑む女性研究者賞」の表彰式(次頁参照)と本学の女性研究者の研究内容を紹介するパネル贈呈式を行いました。

本シンポジウムはFD・SD研修として行い、執行部や部局全体が「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業全体の進捗や達成状況と課題に対する理解を深め、今後も全学で事業を継続するための意識共有を図る大変良い機会となりました。



樗木 晶子氏



林 ゆう子氏



池本 良子氏

プログラム

開会挨拶：遠藤 俊郎(学長)

第1部 中間報告

- 特別講演 1 九州大学きらめきプロジェクト10年の歩みとこれから
座長：池田 真行(理学部長) 講師：樗木 晶子氏(九州大学 医学研究院 教授)
- 特別講演 2 東京工業大学における教育・研究と家庭のワークライフバランス支援など
座長：堀田 裕弘(学長補佐) 講師：林 ゆう子氏(東京工業大学 特任教授)
- 特別講演 3 女性研究者支援・養成事業の実績と今後の動向
座長：鈴木 基史(理事) 講師：山村 康子氏(科学技術振興機構プログラム主管)
- 基調報告 市田 路子(学長補佐)
- 外部評価講評 池本 良子氏(金沢大学 学長補佐)

第2部 表彰式

- 第1回 富山大学学長賞「未知に挑む女性研究者賞」表彰式
座長：神川 康子(理事)
- 受賞記念講演：畑 由紀子(医学薬学研究部(医学)准教授)
- 受賞記念講演：石川 明香里(医学薬学教育部 博士後期課程2年)
- 女性研究者のパネル贈呈式
- 閉会挨拶：市田 路子(学長補佐)
- 総合司会：當銘 一文(男女共同参画推進委員会委員)



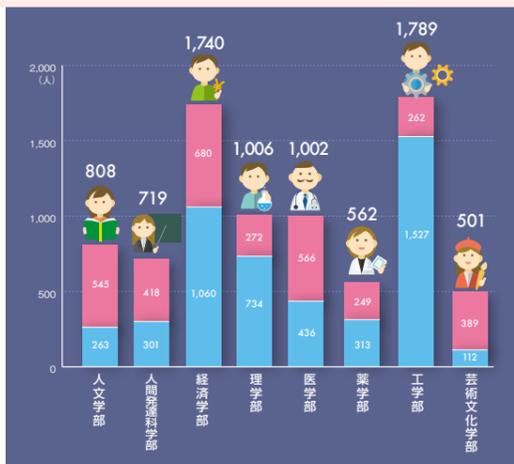
女性研究者のパネル贈呈式

富山大学 数字で見る 学部ごとに異なる女性比率

デジタルパンフレット「データで知る富山大学」によると、平成29年5月1日現在、富山大学の学部生は8,127人です。そのうち、女性は3,381人、女性比率は42%です。大学院生は、1,122人のうち女性は306人、女性比率は27%です。

女性が最も多いのは経済学部ですが、女性比率は高くありません。女性が男性より多い学部は、8学部のうち4学部あります。芸術文化学部は、女性比率が最も高く、78%です。続いて、人文学部が67%、人間発達科学部が58%、医学部が56%です。工学部の女性比率はわずか15%です。女性にとっても、男性にとっても、女性比率は、キャンパスライフに何らかの影響があることでしょう。

出典：富山大学ウェブサイト「データで知る富山大学 2017」
<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/about/data-book.html>



編集後記
私が編集長になり4号目が完成しました。この間ダイバーシティ事業も折り返し地点を迎え、10月には今後の事業展開の指針となる「中間報告シンポジウム」を開催しました。中間評価結果を真摯に受け止め、事業の益々の発展を心より願っております。今後も皆さまにお読みいただける紙面づくりに向け編集委員一同取り組んでまいります。
富山大学男女共同参画推進室News Letter編集メンバー
南村 有輝子 坂田 博美 島添 貴美子 池田 裕計 高野 直子 佐藤 杏子 竹岡 美樹 甲斐田 直 小川 友美

発行
富山大学男女共同参画推進室

〒930-8555 富山市五福3190
E-mail smart@ctg.u-toyama.ac.jp
TEL 076-445-6146



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

第1回「未知に挑む女性研究者賞」表彰式 及び 受賞記念講演

富山大学における女性研究者の優れた研究と高い将来性を讃えるために平成29年度より創設した「未知に挑む女性研究者賞」の表彰式を開催しました。本賞は、人文・社会科学ならびに自然科学の各分野において優れた研究成果を挙げ、将来的に国内外で当該研究分野を牽引していく高いリーダーシップが期待される女性研究者を顕彰することにより、女性研究者の研究意欲を向上させ、本学、ひいては我が国の学術研究の将来に資する人材の育成等を目指すものです。

第1回となる本年度は、女性研究者部門8名、女子学生部門11名の計19名から応募があり、厳正な審査のうえ、女性研究者部門には医学薬学研究部(医学)准教授の畑由紀子先生、女子学生部門には医学薬学教育部博士後期課程2年の石川明香里さんが選ばれました。遠藤俊郎学長から表彰状と副賞、また記念品として地元富山の工芸品であるガラス製の表彰盾が授与され、続いて、受賞記念講演を行いました。お二人の今後の益々の活躍が期待されます。

富山ガラス工房
高橋俊順作
ガラスの表彰盾



表彰式



受賞記念講演



女性研究者部門
医学薬学研究部(医学)准教授
畑由紀子先生



【受賞記念講演タイトル】
「心臓突然死における遺伝的背景の検索」

この度は栄誉ある賞を賜り、身に余る光栄に存じます。遠藤学長を始めとする大学関係者の皆様、ご指導いただいている基礎・臨床各科の先生方に御礼申し上げます。

私が所属する医学部法医学講座は、年間約180例の法医学解剖を行っており、異状死の診断精度の向上や、突然死、自殺予防を目指した研究を行っております。

今回は、原因不明の心臓突然死症例に対して、molecular autopsyを行い、従来から注目されていたチャネル関連遺伝子に加えて心筋症関連遺伝子変異が関与する可能性につき報告いたしました。

今後も、死因究明・病態解明から、突然死予防に繋がる研究を目指したいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



女子学生部門
医学薬学教育部(薬科学専攻)博士後期課程2年
あかり
石川明香里さん



【受賞記念講演タイトル】
「肥満病態におけるインフラマソーム活性抑制を介した鉍質コルチコイド受容体阻害薬の糖代謝改善機構」

この度は大変光栄な賞を頂戴しまして、とても嬉しく思います。研究をする中で、思うように結果が出ず苦労することも多いですが、先生の熱意あるご指導や研究室の仲間の支えを受けてこれまでの研究成果を得ることができ、恵まれた環境で研究ができることに感謝しています。私は、既存の高血圧治療薬が新たに糖尿病病態を改善するメカニズムを研究しています。糖尿病患者の増加は今や社会問題となっており、より有用な治療薬の開発が求められます。自分の研究が今後の医療の発展に少しでも繋がるよう、これからの研究活動にも励みたいと思います。

活動報告

富大☆Happy・キャリア・ミーティング 教えて先輩! 女性研究者のオシゴト

女子学生が進路や将来を考える一助として、また女性研究者の裾野を拡大することを目的として、「富大☆Happy・キャリア・ミーティング 教えて先輩! 女性研究者のオシゴト」と題するイベントを、大学コンソーシアム富山の後援を得て開催しました。本学の女性研究者とOGが自身の研究活動やキャリア選択について講演し、8名の女子大学院生らが現在取り組んでいる研究内容をショート・プレゼンテーションとポスターでわかりやすく紹介しました。

前半は、二人の女性研究者が研究内容や短期留学した際の経験、自身のキャリア形成の過程や海外の大学へ進学・就職を考えている学生へのアドバイスをお話くださいました。また、平成30年4月設置の都市デザイン学部から、その分野における女性研究者の活躍の様子についてのお話もありました。

続いて、薬学部OGの株式会社廣貫堂の米澤裕子氏により「大学院は行くべきか?」、工学部OGの国立研究開発法人理化学研究所の水谷悠紀子氏により「仕事とプライベートのバランス」と題した講演が行われました。富山大学大学院を修了し、富山県内外で活躍している女性研究者のお話は、身近なロールモデルとしても大変興味深いものでした。質疑応答の他、参加者同士の交流もみられ、大変活気あるイベントとなりました。アンケートには「身近に女性研究者があまりいないので、とてもよい経験になった。」「貴重なお話が聞けてよかった。進路を決めるにあたって参考になった。」などのコメントが寄せられました。

プログラム

開会の辞 鈴木 基史(理事)

大学コンソーシアム富山からの挨拶 秦 正徳(学長補佐)

- 講演1 河崎 優希(医学薬学研究部(薬学)・助教)
- 講演2 小木曾 左枝子(国際交流センター・准教授)
- 講演3 米澤 裕子 氏(株式会社廣貫堂・薬学部OG)
- 講演4 水谷 悠紀子 氏(国立研究開発法人理化学研究所・工学部OG)

質疑応答

ご挨拶 遠藤 俊郎(学長)

富大女子大学院生らによるショート・プレゼンテーション&ポスター発表
リケジョ相談コーナー

講演5 久保田 善明(理工学研究部(工学)・教授)

閉会の辞 市田 路子(学長補佐)

- 開催日：平成29年10月25日(水) 14:00~16:00
- 会場：五福キャンパス 理学部2F多目的ホール
- 対象：大学院生、大学生、教職員、一般
- 参加者：76名



水谷 悠紀子 氏

米澤 裕子 氏



河崎 優希 先生

小木曾 左枝子 先生

久保田 善明 先生

このイベントは本学の5名の女子大学院生がオーガナイザーとして企画段階から関わり、当日運営も行いました。

- 理工学教育部 野村 麻衣さん: イベント運営に関わった皆さんと協力し合い、楽しみながら無事終えることができました。
- 理工学教育部 青柳 美奈実さん: 自分の意見を取り入れてもらい、やりがいと達成感を感じることができました。
- 医学薬学教育部 堀 照蒙さん: 今回のイベントは、自分の研究や発表だけでなく、ショートプレゼンやポスター発表など自分の研究も発表できた有意義なシンポジウムになりました。
- 医学薬学教育部 浅沼 舞さん: 女性がキャリアを積むためのひとつの指針となるような素晴らしいイベントだったと感じています。
- 医学薬学教育部 金田 真理彩さん: 社会で輝いておられる女性研究者の方を目前に見ることができ、自分自身のキャリアアップのモチベーションにも繋がりました。

富大☆Happy・キャリア・ミーティング
教えて先輩!
女性研究者のオシゴト

2017年10月25日(水)
14:00~16:00

会場: 五福キャンパス 理学部2F 多目的ホール

参加費: 無料
申し込み: 不要
公開: 一般公開



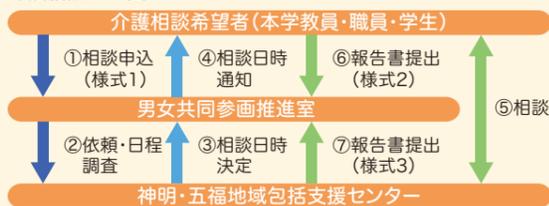
お知らせ 介護相談実施中

男女共同参画推進室では、本学教職員の介護について富山市にある地域包括支援センターの協力のもと、随時介護相談を受け付けています。相談方法は下記の流れ図のとおりです。本学教職員は、介護を受けるご家族がどこにお住まいでもご相談いただけます。必要に応じて、介護を受けるご家族がお住まいの地域包括支援センターにお繋ぎすることもできます。遠距離介護や、どのタイミングで介護認定を受ければよいのかなど、介護にまつわる様々なお悩みに経験豊富なケアマネジャーが対応いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

富山大学介護相談体制

- 対象：本学に在籍する教職員・学生
- 相談方法：男女共同参画推進室への事前申し込みにより受付を行い、神明・五福地域包括支援センターが相談を受ける。
 - ①本学を会場とする出張相談（介護セミナー等と同日開催）
 - ②神明・五福地域包括支援センターでの相談
- 相談時間：9:00～17:00 ■相談料：無料

介護相談流れ図



第4回 介護セミナー及び個別相談会

- 講師：吉崎 るみ子 氏(神明・五福地域包括支援センター管理者)
- 日時：平成29年9月29日(金) 15:30～17:00
- 会場：五福キャンパス 黒田講堂 会議室 ■対象：本学教職員、学生 ■参加者：8名

第4回目となる今回は、神明・五福地域包括支援センター管理者の吉崎るみ子氏を講師に招き「介護保険と認知症」をテーマにご講演いただきました。変化しつつある介護保険制度について利用できるサービスを学びました。近年増加の一途の認知症について、その種類や症状の実例を交えながら分かりやすくお話しくださいました。家族の介護に直面するまで、馴染みの薄い地域包括支援センターの役割についても、介護・健康に関する相談、権利擁護・財産管理の相談、介護保険利用の手続きなど多岐にわたると話されました。地域の関係機関や介護支援事業所などと連携しながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域包括支援センターはサポートしていると大変心強いお話でした。参加者からは、どのタイミングで介護認定を受けたら良いのか、誰が申請できるのかなど、介護に対する具体的な質問がありました。セミナーに引続き、介護の個別相談を行いました。



第5回 介護セミナー

- 講師：本田 理恵子氏(神明・五福地域包括支援センター 社会福祉士)
- 日時：平成30年1月17日(水) 15:30～16:30
- 会場：杉谷キャンパス 講義実習棟1階 102講義室
- 対象：本学の教職員、学生 ■参加者：15名

第5回介護セミナーは社会福祉士の本田理恵子氏をお招きし「介護保険と認知症」をテーマにご講演いただきました。認知症の種類や症状、介護保険認定の流れから利用できるサービスまで分かりやすくご説明くださいました。今回は看護学科の学生さんの参加もあり、参加者からは、初期認知症とうつ病の見分け方等について具体的な質問が出され、介護問題への関心の高さがうかがえました。



国際シンポジウム

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の一環として、学内公募「女性研究者による国際シンポジウム企画・開催助成金」に採択された2人の女性研究者が国際シンポジウムを開催しました。

「伝統薬物の科学研究国際シンポジウム」

- 開催日：平成29年11月10日(金)
- 会場：富山第一ホテル

和漢医薬学総合研究所の小松かつ子教授の企画・運営により「伝統薬物の科学研究国際シンポジウム」を開催しました。

生薬学・天然物化学の分野で活躍する研究者を中国、フランス及び国内から7名招聘し、MS/MSネットワークによる生薬成分の科学的解析を含む最新の研究成果を共有しました。また、ポスターセッションを設け、女子大学院生らを中心とした若手研究者らが研究成果を発表し、研究者、学生、招聘講師が直接意見を交わしました。これらにより、伝統薬物や薬用植物の生薬学・天然物化学研究に新風を送りこみ、研究者・学生の意識改革や研究の活性化に繋がることが期待されるとともに、新たな共同研究に繋がる交流を深める機会となりました。



「グローバル時代における外国語教育の未来を考える：動機づけと教師の役割」

- 開催日：平成29年12月9日(土)～10日(日)
- 会場：富山県民会館

国際交流センター小木曾左枝子准教授の企画・運営により、外国語教育に関する国際シンポジウムを開催しました。

今回は「教師の役割」に焦点を当て、動機づけについて考えることを目的として、エマ・ウシオダ氏(英・ウォーリック大学)、マギー・クバニオヴァ氏(英・リーズ大学)及びキム・テヨン氏(韓・中央大学校)にご講演いただきました。その後、英語教育と日本語教育に部会を分け、英語教育の部では講演者3名をパネリストに、日本語教育の部では、田中和美氏(元国際基督教大学)、ヨフコバ四位エレオノラ氏(富山大学)、中河和子氏(トヤマ・ヤポニカ)をディスカッサントにお迎えし、総合討論を行いました。

2日間に渡るシンポジウムには国内外から多くの外国語教育関係者が参加し、関心の高さが伺えました。



FD/SDセミナー 第4回英語スキルアップセミナー「科学英語論文の書き方セミナー」

- 講師：小野 義正 氏
(理化学研究所 創発物性科学研究センター 客員主管研究員)
- 日時：平成29年11月9日(木) 14:45～18:00
- 会場：五福キャンパス 理学部多目的ホール
- 対象：本学教職員、学生 ■参加者：56名

男女共同参画推進室では、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」国際型女性研究者育成プログラムの一環として、附属図書館及び研究推進機構とともに「科学英語論文の書き方セミナー」を開催しました。

科学英語論文の書き方について、初歩的な段階からより実践的な手法まで、幅広い内容をご教授いただき、アカデミック・スキル向上のための有意義なセミナーとなりました。



Smart Café

本年度のSmart Caféは、第一線で活躍する富山大学の各部署の女性研究者から、研究者を志すきっかけや仕事と家庭の両立、海外留学、ライフスタイルなどのお話を伺っています。

Smart Café in 薬学部・和漢研

- 日時：平成30年1月18日(木) 17:00～18:30
- 会場：杉谷キャンパス 日医工オーデトリウム
- 参加者：70名



「Smart Café in 薬学部・和漢研」は、薬学部助教の藤井拓人先生と和漢医薬学総合研究所研究員の長田夕佳先生に、フランスとアメリカへの短期留学のお話を伺いました。藤井先生は南フランスのニース・ソフィア・アンティポリス大学の研究室へ2ヶ月間留学した際の、現地での情報収集やコミュニケーションのとり方などを豊富なエピソードを交えてわかりやすくお話しくださいました。長田先生はハーバード大学ボストン小児病院へ1ヶ月留学し、短期だからこそ有効な時間の使い方や心構えについてお話しくださいました。続く座談会では多くの学生が講師を囲んで、研究留学への興味や質問が尽きない様子でした。



Smart Café in 医学部 ～キャリアアップ座談会～

- 日時：平成30年1月25日(木) 18:00～19:00
- 会場：杉谷キャンパス 附属病院2階 臨床講義室II
- 参加者：58名



「Smart Café in 医学部」は、日本臨床泌尿器科医会主催、とよま総合診療イノベーションセンター、日本医師会、富山県医師会と共催し、女性医師のキャリア形成・継続の支援を目的として、泌尿器科で活躍する女性医師お二人からお話を伺いました。始めに上越総合病院泌尿器科で臨床研修中の安川瞳先生と本学腎泌尿器科学講座の北村寛教授に、女性泌尿器科医のキャリアアップとQOLについてベアトーク形式でお話いただきました。続いて、金沢医科大学講師の森田展代先生に「女性医師として、泌尿器科医として」と題してご講演いただきました。男女問わず、医師のキャリアアップやワーク・ライフ・バランスについての話題は興味深いようで、参考になったとの声が多く聞かれました。



出前講座を開催しました

富山県少子化対策・県民活躍課 イクメン・カジダン 養成出前講座

- 講師：小崎 恭弘 氏
(NPO法人ファザーリング・ジャパン 顧問)
- 日時：平成29年11月16日(木) 13:00～14:30
- 会場：五福キャンパス 経済学部2階201
- 対象：本学学生 ■受講者：122名
- テーマ：ライフシフトから始めるライフデザイン！
～男性の家事・育児が社会を変える～

経済学部「特殊講義キャリア・デザイン論」船橋伸一先生の授業で、富山県主催のイクメン・カジダン養成出前講座を開催しました。ファザーリング・ジャパン顧問の小崎氏は、学生たちにライフプランを考えるべき理由や、これからの生き方についてアドバイスされ、人生について考えを深める機会となりました。学生の父母世代の生き方がロールモデルとならない変化の大きな時代を生き抜くことを学びました。



富山市男女共同参画推進センター 男女共同参画サテライト講座

- 講師：佐藤 千里 氏
(一般財団法人女性労働協会 前専務理事)
- 日時：平成30年1月18日(木) 16:30～18:00
- 会場：五福キャンパス 共通教育棟C12
- 対象：本学学生 ■受講者：81名
- テーマ：女性のキャリア形成支援
一億総活躍社会の実現と働き方改革

「教養教育ジェンダー(性)」佐藤裕先生の授業で、富山市との共催の男女共同参画サテライト講座を開催しました。佐藤千里氏は、日本の人口構造の変化から「ニッポン一億総活躍プラン」が打ち出されたこと、今後はライフステージの変化に合わせて、学び直しと多様な仕事の選択が必要になることを話されました。学生達にエールを込めて、大学生のうちからタイムマネジメント、コミュニケーション、ストレス対応、ライフキャリアデザインに取り組むことの勧めがありました。





男女共同参画推進室 佐藤杏子コーディネーター

平成29年10月より、週3日コーディネーターとして富山大学男女共同参画推進室にて主に次世代育成に取り組んでいます。残り2日は理学部生物学科にて自らの研究を進めています。多くの方々に教えを請うことや、不慣れな部分もたくさんありますが、推進室と理学部の両方で、私なりに大学の発展に寄与できればと思っています。

男女共同参画推進室では、研究者を目指す女子学生・女性院生向けの支援のほか、裾野拡大を狙った女子中高生向けの理系に興味・関心を持ってもらうための活動を行っています。今後の計画として、志の高い女性大学院生の皆さんに、女子中高生にとっての身近なロールモデルとして活躍していただきながら、同時に研究者としてのスキルアップも叶える活動に加え、研究者を目指す方々のキャリア相談を受け付ける活動を予定しています。

日本の大学における理系の女性研究者はまだ少ないという現状があります。女性が活躍する機会を増やすことを目指し、女性がより輝き、より研究しやすい環境を整える仕事に携われることを本当にうれしく思っており、やりがいを感じています。それは私自身が女性研究者として、これまでも、そして現在も研究者ならではの多くの悩みや不安に向き合い葛藤し、失敗や挫折を繰り返して来たからです。今も8歳と2歳の子供を育てながら働いており、多くの女性が直面する結婚・出産・育児に伴うさまざまな問題の渦中に私がいるからこそ、同様の問題に苦勞する女性研究者の進路の模索の難しさを真に理解し、お手伝いできるのではないかと考えています。さらに、次世代を担う若い女性研究者が抱える疑問・悩み・不安に寄り添いながら、それぞれの個性を生かしたのびのびとした研究活動をサポートできればと思っています。

理学部では、野生の高等植物の細胞分類学的研究を行っています。私の研究テーマは、野外に生育する植物を対象とした染色体を通して見る「種」の理解です。生物学の大きなテーマの一つである分類は、生命科学のあらゆる分野の基礎となります。私は、その分類のためのアプローチの一つとして染色体の観察を行っています。染色体の観察から見えるものは、交配の難易や雑種の生殖細胞形成の率または稔性、ゲノム間の分化の程度など多岐にわたります。植物の種を理解する上で、種内に染色体の数や形で区別できるグループがいくつ存在しているのか、それぞれのグループがどのような割合で、どのような地理的分布を示しているのかということは、非常に重要です。こうした情報は、種の多様性の保全を考える上でも欠かすことができません。そこから得た情報をもとに種分化の過程を明らかにすることは、より正確な種の認識を助けるだけにとどまらず、進化の道筋を辿る手がかりにもなっていくと考えています。

また、私は、身近な植物や薬用植物を主に研究対象としています。どこにでも生えるなじみ深い植物も、私たちの健康に密接に関係する植物も、染色体の観察からさまざまなことがわかります。染色体を通じた研究を積み重ね、生物学の本質に迫ることのできる研究に携わっていきたくと思っています。そしてひとつひとつの歩みは小さくとも、生物学全体の常識が変わるような生物の仕組みの解明に挑み続けたいと考えています。



富山県内の高校の進路座談会にて。高校1年生に進路選択の一助として、研究者の仕事を紹介してまいりました。質疑応答の時間ではたくさんの質問をしていただきました。



研究室にて。顕微鏡で染色体を観察しているところです。私にとって染色体は、本当に美しく魅力的な存在です。

富山大学における 出産・育児・介護支援制度一覧

	雇用形態			給与		結婚等	産前	出産	産後	子ども1歳	子ども2歳	子ども3歳	小学校就学
	常勤	契約	パート	常勤	契約/パート								
結婚 妊娠 出産 育児	●	-	-	有	-	結婚休暇							
	●	●	●	有	無		妊産婦への業務免除・業務軽減 通勤緩和・休憩・保健指導・健康検査						
	●	●	●	有	無		産前休暇	産後休暇					
	● ^{*1}	● ^{*1}	● ^{*1}	無	無					女性の育児休業			
	●	-	-	有	-		配偶者の出産休暇						
	●	-	-	有	-		配偶者の育児休業						
	● ^{*1}	● ^{*1}	● ^{*1}	無	無		男性の育児休業						
	●	●	●	-	-		時間外・休日・深夜労働時間の制限						
	●	●	●	-	-		時間外・休日・深夜労働時間の免除						
	●	●	●	-	-		早出遅出労働の制限 ^{*2}						
介護	●	●	●	無 ^{*3}	無 ^{*3}		育児部分休業						
	● ^{*1}	● ^{*1}	● ^{*1}	無 ^{*3}	無 ^{*3}		育児短時間勤務						
	●	●	●	有	無		保育休暇						
	●	●	●	有	有		子の看護休暇						
	●	●	●	-	-		男女のための 女性のための 男性のための						

	雇用形態			給与		介護休業
	常勤	契約	パート	常勤	契約/パート	
介護	●	● ^{*4}	● ^{*4}	無	無	介護休業
	●	●	●	無 ^{*3}	無 ^{*3}	介護部分休業
	●	●	●	有	有	介護休暇
	●	●	●	-	-	時間外・休日・深夜労働の制限又は免除
●	●	●	-	-	早出遅出労働	

*1: 期間を定めて雇用される職員は下記のいずれにも該当する場合、制度の利用が可能
 ①引き続き雇用された期間が1年以上であること
 ②子が1歳6か月に達する日を超えて引き続き雇用されることが見込まれること。
 *2: 産前の早出遅出労働の制限については、「妊産婦への業務免除・業務軽減」の場合と同様の対応
 *3: 休みの分は、給与から減額
 *4: 期間を定めて雇用される職員は下記のいずれにも該当する場合、制度の利用が可能
 ①引き続き雇用された期間が1年以上であること
 ②介護休業開始予定日から93日を経過する日(93日経過日)を超えて引き続き雇用されることが見込まれること

※平成30年2月現在。国立大学法人富山大学規則集に基づき作成。
 ※詳細については、規則を確認の上、所属部局の事務担当者にご確認ください。
 ※職員からの請求により制度が利用できます。

参考: 富山大学人事企画課・人事労務課ウェブサイト
<http://int.u-toyama.ac.jp/LHRS/>
 (学内限定)

その他の特別休暇

- ・夏季一斉休業
- ・夏季リフレッシュ休暇
- ・公民権休暇
- ・裁判員等出頭休暇
- ・忌引き休暇
- ・災害休暇 等

平成29年度研究サポーター制度 利用者決定

育児や介護を担っている研究者が教育・研究活動との両立を可能とすることを目的に支援を行っています。今年度は4名の男性研究者が採択されました。(※女性研究者については別制度で支援中)

センター試験特別保育を実施

ベビーシッター・休日保育利用料補助制度の一環として、センター試験業務に従事した本学の教職員を対象に保育料の補助を行いました。今年度は2名の教職員が利用しました。

■実施日：平成30年1月13日(土)～1月14日(日)

サンフォルテ巡回文庫 図書貸出実施

富山県民共生センター「サンフォルテ」図書室所蔵、女性の生き方やキャリアについて考える本35冊の展示・貸出を行いました。

■貸出場所：富山大学中央図書館 1階企画展示コーナー
 ■貸出期間：平成30年 1月5日(金)～1月31日(水)



第10回 ジェンダーギャップ指数

世界経済フォーラム(WEF)は11月2日に、各国のジェンダー不平等状況を分析した「世界ジェンダーギャップ報告書(Global Gender Gap Report) 2017」を発表しました。その中で、毎年発表している2017年版「ジェンダーギャップ指数:男女格差指数(Gender Gap Index:GGI)」を公表しています。対象は世界144カ国。格差が少ない1位から5位までは、アイスランド、ノルウェー、フィンランド、ルワンダ、スウェーデン。日本は114位で昨年の111位から3つ順位を下げました。この指数は、各国の社会進出における男女格差を示す指標で、ジェンダー間の①経済的参加度および機会、②教育達成度、③健康と生存、④政治的参加度という4種類の指標を基に算出されます。

1 ねえGGIランキングが発表されたの知ってる？

何それ？

2 経済・教育・健康・政治の4分野で男女平等の度合いを指数化したランキングのことよ

そうなんだ

3 教育、健康、政治の分野はまたまた課題があるのよ

女性国會議員の増加とかね

へー、日本は114カ国中の114位中、でも教育、健康分野のランキングは高いんだね

4 頑張ってるわ

今日も

君みたいなのが、女性の活躍がますます求められてるんだね